

科目名		授業形態		担当教員名	
作業療法特論Ⅲ		講義		嘉納 綾・小田 佳子・石橋 保子 石原 真奈美・淡路 大致・岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
60 時間（4 単位）		30 回		3 年次	通年
授業の目的・概要					
臨床実習に向け、対象者の評価・統合と解釈及び主要問題点の把握、さらには目標設定し、その後の治療プログラム立案の一連の過程において、これまでの授業で習った知識や技術をどのように応用し、対象者理解に役立てるのかを学ぶ。国家試験対策では、基礎医学・臨床医学・作業療法専門問題について、段階的に学習し、国家試験問題の解き方や自己学習の進め方を身に付けることを目指す。また、障害者スポーツについて理解する。					
授業の到達目標					
1. 様々な症例において、対象者の評価の進め方、主要問題点の導き方、目標設定、治療プログラムの立案に至るまでの過程を説明できる。2. 過去の国家試験問題の解剖・運動・生理学の範囲に関して、臨床実習のない学内待機中に、概ね6割以上を正答することができる。3. 過去の国家試験問題の専門基礎分野の範囲に関して、12月末までに概ね7割以上を正答することができる。					
授業計画					
回	内容				
1	臨床実習対策①	16	国家試験対策⑧		
2	臨床実習対策②	17	国家試験対策⑨		
3	臨床実習対策③	18	国家試験対策⑩		
4	臨床実習対策④	19	国家試験対策⑪		
5	臨床実習対策⑤	20	国家試験対策⑫		
6	臨床実習対策⑥	21	国家試験対策⑬		
7	臨床実習対策⑦	22	国家試験対策⑭		
8	臨床実習対策⑧	23	国家試験対策⑮		
9	国家試験対策①	24	国家試験対策⑯		
10	国家試験対策②	25	国家試験対策⑰		
11	国家試験対策③	26	国家試験対策⑱		
12	国家試験対策④	27	障がい者スポーツの意義と理念①		
13	国家試験対策⑤	28	障がい者スポーツの意義と理念②		
14	国家試験対策⑥	29	全国障害者スポーツ大会の概要について		
15	国家試験対策⑦	30	障がい者スポーツ指導者制度について		
成績の評価法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
定期試験	100%	中間試験3回（全国統一模擬試験を含む）、期末試験で総合評価する。			
レポート					
小テスト					
平常点					
その他					
自由記載					
教科書					
書名	著者・編集者名		出版社名		
国試の達人PT・OTシリーズ2020年運動解剖生理学編 第26版	理学療法科学学会 編		株式会社アイベック		
国試の達人PT・OTシリーズ2021年臨床医学編 第22版(未発売)	理学療法科学学会 編		株式会社アイベック		
自由記載					
参考文献					
書名	著者・編集者名		出版社名		
なし					
自由記載					
備考					